

## 大使からの活動報告<2016年5~6月号>

—当国への防災機材の引渡式、ユニセフ日本親善大使の来訪など—

2016年6月23日  
在グアテマラ日本大使  
川原 英一

### ◆防災機材の引渡式（5月31日）

5月31日、日本政府からの防災機材の一部についての引渡式が、当国インフラ通信省



で行われました。引渡式に御出席されたジミー・モラレス大統領（左写真、左端の方）は、御挨拶の中で、日本政府による協力は、今回の防災機材の供与にとどまらず、当国の人材育成にも大いに協力をして頂いており、誠に有り難く、感謝申し上げたい、また、供与された橋梁点検車輛を大いに活用して当国の橋梁の安全性の確認を



実施して参りたい、日本政府の援助に心から感謝を申し上げたいとのご発言を繰り返しておられました。



同式典終了後、当方は、地元 TV の取材を受けました。今回の防災機材は昨年 9 月の供与に続く第二弾の機材引渡しであること、わが国から技術者が来て、インフラ省職員への運転に関する実地訓練を

予定していること、さらに今年中に最後の防災機材の引き渡しがあること、これら機材が当国でフルに活用されることを期待しますとの発言を致しました。

### ◆金沢大学訪問と講演

金沢大学からの当方の一時帰国の際の講演依頼があり、5月13日、同大学を訪問し、山崎光悦学長（左写真右から3人目の方）、山本博副学長（学術交流担当理事、写真右端の方）らと懇談を致しました。同大学へは2回目の訪問です。グアテマラの大学との間での学術交流促進などについて意見交換をさせて頂きました。





その後、同大学の学生・教職員を対象にして、日本と中米グアテマラの最近の交流事情などについて講演しました。金

沢大学は、中村誠一教授が中心となり、これまでマヤ文明のスーパースターと言われるグアテマラのティカル遺跡の発掘・保全活動に大きな貢献をして頂いております。また、昨年、金沢大学とグアテマラの二つの有名私立大学との間でパートナーシップ協定が結ばれ、今後、学術交流が進むと期待しております。

#### ◆新任イタリア大使の当館来訪

4月下旬に当国に赴任したイタリア大使が新任挨拶のため来訪されました。プッチ(Pucci)大使はイタリア首相と同じフィレンツェ大学出身で、2年先輩とお聞きしました。



今年は日・イタリア国交150周年を迎えることやグアテマラとのビジネス関係強化が、新大使として最優先事項であることなど伺いました。

#### ■ JICA グアテマラ前期中学校における数学教育の質改善プロジェクト

6月7日JICA教育ミッション(西方団長:左写真右から3人目の方)一行が来訪されて、グアテマラでの今後の数学教育向上関連プロジェクトの実施について、当国教育省との間でまとまった協議結果について御報告を頂きました。2019年までに中学



1-3年生のための国定数学教科書の策定、同教師用の同指導書、教員養成学校での指導書策定があります。裨益者は公立中学校の数学教員990名、教員養成学校教員、公立中学生徒37万人、国立教員養成学校本部および地方キャンパス生徒等3千名などです。今回のプロジェクトは当国、エルサルバドル、ホンジュラス、

ニカラグアの4カ国で日本政府が推進する中米地域プロジェクトであり、エルサルに常駐する西方団長、川澄専門家などが中心となり、3年の間にすべての作業の完成を目指すという、意欲的な目標で実施予定です。教育省側のカウンターパートは、ロペス大臣の下で、ヘクトル教育次官がヘッドとなり対応する予定。同プロジェクトにより、当国の中学での数学教育の質の大きいなる向上が期待できることを期待しております。

#### ◎外務省投資促進担当ゴンザレス特別大使の来訪

5月下旬、当国外務省に投資担当特別大使(無給ポスト)が設けられて、ゴンザレス大使(右写真)が外務大臣から任命されました。そのお披露目ということで新任ご挨拶に来られました。長年、民間セクターで経団連(CACIF)や工業会議所副会頭としても活躍されて



いたと伺いました。外務大臣から依頼で、グアテマラの投資戦略を関係省とも連携して策定することになると伺い、当方から、ビジネス交流やビジネス環境整備などについて助言申し上げました。

#### ◆アグネス・チャンユニセフ日本親善大使

13日午前、アグネス・チャン・ユニセフ日本親善大使が当館を表敬訪問されました。ユニセフのロゴ入りの水色Tシャツ姿で、世界でも子供の栄養不良が特に深刻な国である



るグアテマラの事情やユニセフの活動現場を視察予定であること、栄養不良の妊婦さんから生まれた子供は、その後、障害、難病にかかる可能性が、普通の子供の場合と比べて高いことなど語っていただきました。

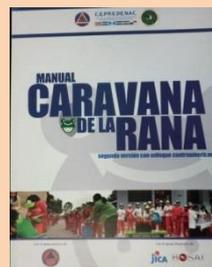
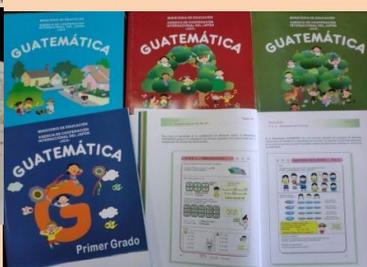
当方から、この国の保健制度や病院事情が極めて厳しく、子供の半数が栄養不良の状態であるという事情とともに、これまで日本から当国の子供に向けた支援活動を実施し、特に母子健康増進に向けた支援（西部地域で妊婦の定期診断の導入、保健所と中核病院との連携したフォロー活動）、母子栄養改善に向けた協力隊の栄養士隊員の活躍振りについて、栄養バランスのとれた献立料理帳とDVD（左写真）を作成したり、保健所を通じ母親へ献立普及、子供の算数能力向上プログラムと、その結果、日本の協力により算数教科書が全国の公立学校で使用されていること、などお話ししました。また、当地日本人婦人会や外務省夫人OB（かすみがせき）会から当国ルーズベルト国立病院の難病にかかっている子供たちへの医薬品寄付を行ってきたことなどお話ししたところ、大変に興味深く聞いておられました。

#### ◆ドナー国・国際機関関係者への日本の協力に関するプレゼン

6月15日、アルフォンソ西大使から当方へ依頼があり、スペイン経協事務所において、我が国のグアテマラ支援の現状について、西欧各国大使・国際機関代表らに対して



お話を致しました（左写真）。パワーポイントを使用して、注目すべき活動などについて説明を行い、出席大使等からは、日本が多様な分野でグアテマラを支援して、実績を上げている内容について興味深く聞いてくれました。また、わが国の支援によって完成し、現在、当国の公立小学校で使用されている算数の教科書「Guatemala（左下、真中写真）、当国



防災調整委員会（CONRED）が日本での研修成果を生かして作成した

防災キャンペーン資料「カエル・キャラバン (Caravana de la Rana)」と全国学校訪問、また、協力隊員が地方のお母さんのために作成した栄養改善のための料理献立冊子（前頁末尾写真）などお見せしたところ、その素晴らしい内容に関心が集まりました。

#### ◆在米国大使館での弔問記帳

6月16日、当地米国大使館に参り、同月12日にフロリダ州オーランドで発生した銃撃による多数殺人事件で、不幸にして亡くなられた被害者への弔意を表明するため、同大使館に特設された場所で弔問記帳を致しました。当方、在マイアミ日本総領事として2年7ヶ月ほど過去に在勤したことがあり、オーランド市は何度も訪問したことがあります。今回の痛ましい大惨事に大変に驚くとともに、犠牲者および家族の皆様にご挨拶を兼ねて弔意を表明させて頂きました。



#### ◆ラマダン期間中のイフタル（断食明け料理）

イスラム世界では、今月6日から7月上旬迄30日間、ラマダン（Ramadan；断食）を行っているのですが、18日、当国駐在エジプト大使（左写真の左から二人目）から、日没後に食べる食事（IFTAR）に招かれました。ナツメヤシのデザートから始まる断食明けの夜の食事を戴きながら、同時に呼ばれたカスティージョ（Castillo）外務次官（副大臣相当、左写真真ん中の方）及びディエゲス（Dieguez）同次官（同）や外務省二国間局長、ペルー大使ら中南米大使と一緒に、コーランの祈りの声が時折流れる中、楽しい懇談の時間を過ごしました。



#### ◎帰国協力隊員の訪問

6月23日、2年間の活動を終えて帰国される協力隊員6名の方々に当館を訪問頂きました。スポーツ（野球・体操・卓球）、小学校教育、野菜栽培そして廃棄物処理の各分野でご活躍を頂いたことを色々お聞きしました。教育隊員として派遣された自治体で30校を訪問、特に6校を中心に学校訪問し、モデル授業を通じて教員同士の授業法について検討会合など充実した活動をされた例がある中、小学算数教科書が教育省から配布されていても教師が使い方がわからないので、使用されていないという残念な例もあったこと、野菜栽培指導の中で農業学校生徒が有機肥料の作り方を知らないのに驚いたこと、ゴミ処理施設の建設は自治体の緊急課題とはまだ認識されておらず、ゴミ不法投棄が多い、学校訪問で、子供たちにゴミを出さないこと、再利用を図るなど指導を地道にされていたことなど伺いました。隊員が、それぞれの派遣先で貴重な経験を積まれたことが強く印象に残りました。（了）

